



▼中甲橋グリーンパークに各地から集積されたごみを分別する参加者たち



きれいな緑川を保とう

「緑川の日2012」一斉清掃活動

4月29日（日）緑川流域などで、「緑川の日2012」一斉清掃作業が行われました。

緑川などの自然環境の保全に關して、住民や企業、行政機関などが連携して取り組むことを目的として、「緑川の日」一斉清掃実行委員会（志免安喜委員長）が主催。ボランティアなど約2,300人が参加して、ごみ拾いや清掃作業などに取り組みました。

早朝から行われた清掃活動は、緑川河川敷など町内各地で実施。参加者が紙くずや空き缶・空き瓶、タバコの吸い殻、不法投棄された家電などを回収し分別して中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学校（作田潤一校長246人）や甲佐高等学校（蔵田勇治校長227人）の生徒のボランティアなどによって再度分別されて処分。町内全体で、約3,310キを回収しました。

参加した50歳代の女性は、「以前に比べると、緑川の河川敷はごみが減って、とてもきれいになりました。これからも、自然を大切にしたいですね」と話しました。

武道を通して心身を鍛錬

白旗小学校で「体験道場」を開催

5月7日（月）白旗小学校（古泉俊彦校長102人）で、「体験道場」が開催され、同小5・6年児童29人が空手に挑戦しました。

武道を通して礼を学び、心身を強く鍛えることで、豊かな人間形成を図ることを目的に町教育委員会が主催。講師に、熊本県実践空手道連盟「勇誠塾」の松岡勇治さんと吉島栄児さんを迎えて、腹式呼吸やあいさつでの声出し、蹴りを実践。松岡さんから、「自分自身を守るために、強くなるのが大切。普段は優しく礼儀正しさを忘れずに」と指導を受けました。



▲空手の蹴りの見本を見て実践練習する白旗小児童たち



◀収穫した枝豆などを焼いて食べる子どもたち

地域での体験で伸ばす力

平成24年度乙女小まつやま塾が開校

5月9日（水）から乙女小学校で、平成24年度乙女小まつやま塾が開校しました。

同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て体験学習などに取り組み、地域社会で子どもたちを大きく育てることを目的に、町教育委員会が主催。毎週水・金曜日に、乙女福祉ふれあいセンターを中心に活動しています。

5月11日（金）は、同塾が野菜などの栽培体験で活用する畑で、枝豆やタケノコなどを地域のボランティアの指導の下で収穫。その場で自分たちで火を起こして、食材を煮たり焼いたりして、取れたての野菜の味を堪能しました。

参加した子どもたちは、「新鮮なうちに料理して食べると、とてもおいしい」と感想を述べました。

緑川に稚アユを放流

緑川漁業協同組合

5月21日（月）中甲橋グリーンパークで、緑川漁業協同組合（坂本猛組合長）が稚アユの放流事業を行いました。

アユの生育量確保を目的として、同組合が熊本県養鰻漁業協同組合と合同で実施。両組合の職員などが、稚アユが積載された貨物トラックの荷台にビニール製のホースをつなぎ、約50キロ10,000匹を緑川に放流しました。

当日の緑川の水量はやや少なかったものの、放流された稚アユは、元気いっぱい泳いでいきました。



▲緑川に稚アユを放流する緑川漁協の職員ら



◀「シート張り工法」を実施する町水防団員ら

非常時の備えを万全に

平成24年度緑川水防演習

5月13日（日）中甲橋上流左岸の緑川河川敷で、平成24年度緑川水防演習が開催されました。同演習は、緑川流域の6市町などが参加する緑川水防演習協議会（長嶺興也会長）が主催。洪水などの河川の非常時に際して迅速に対処できるように、「水防法」では毎年、水防責任者が水防演習を実施することが定められているため、同協議会の参加団体が連携・協力を図って水防に取り組むために、梅雨時期前に実施しています。

町水防団（竹村浩二団長507人）は、重し土のうを付けた防水シートを堤防に設置して堤防への水の浸透を防ぐ「シート張り工法」を実施。本番さながらの緊張感のある演習となりました。

甲佐の物産と観光をPR

第5回甲佐町観光物産展を熊本市で開催



▲多くの通行人が足を止め、本町の特産品を購入したりイベントを楽しんだりと賑わいを見せた第5回甲佐町観光物産展

5月21日（月）熊本市で、第5回甲佐町観光物産展が開催されました。

本町の魅力ある物産や観光資源・郷土文化などを町外に広くPRすることを目的に、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催し、町、甲佐町観光協会、JAかみましきが協賛。同展は、平成20年度から毎年開催されており、5回目となる今年は14団体が同市中央区びぶれす熊日会館前の「びぶれす広場」に出展しました。

物産販売コーナーでは、スイートコーンやスイカなどの野菜や果物、生花や花苗、あられやはちみつ、手作りのパン、アユの塩焼きやうるか、ニラのメンチカツ、生マシュマロ、梅が入った饅頭などの特産品が並びました。

また、本町のやな場や国指定天然記念物「麻生原のキンモクセイ」などの観光案内コーナー、木工製品や竹でできた灯籠『竹あかり』の展示コーナーなども開設。本町の特産品であるニラと手作りの石けんのプレゼントや、やな場のコース料理券などが当たる抽選会などのイベントも行われ、会場は多くの人で賑わいました。